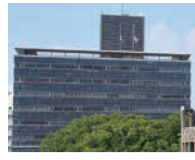


- 中石仁 (日本共産党・安芸区)
 - ・豪雨災害への対策
 - ・市長の平和宣言
 - ・乗り合いタクシー
- 山本昌宏 (市民連合・西区)
 - ・防災拠点施設の耐震化
 - ・民有地のブロック塀の安全対策
 - ・ひとり親家庭への子育て支援
 - ・文化・スポーツ施設等における託児サービス等
- 宮崎誠誠 (自民党・市民クラブ・佐伯区)
 - ・平和記念公園レストハウスの改修
 - ・いじめ問題への対応
 - ・学校における働き方改革
- 森島秀治 (自民党・保守クラブ・東区)
 - ・経営改革
 - ・学校給食
 - ・平和を軸においたまちづくり
- 米津欣子 (公明党・佐伯区)
 - ・高齢者ドライバー
 - ・高齢者のフレイル対策
 - ・修学旅行の受け入れ拡大による「ヒロシマの心」の発信
 - ・学校教育
 - ・子育て支援
- 伊藤昭善 (市政改革ネットワーク・安佐北区)
 - ・東部地区連続立体交差事業
 - ・学校施設のブロック塀対応
 - ・保育園耐震改修
 - ・競輪事業
 - ・豪雨災害対応
- 山路英男 (自民党・市民クラブ・東区)
 - ・浸水対策と災害に強いまちづくり
 - ・観光施設の魅力向上とネットワーク化
 - ・広島市の施設での障害者対応
 - ・独占禁止法違反に係わる指名停止措置

商工会議所ビルの移転

問 市営基町駐車場とその周辺を、商工会議所ビル移転と合わせて再開発を行ってはどうか。市長の考えを伺いたい。

答 商工会議所ビルの移転・建て替えについては、市営基町駐車場周辺の再開発事業として検討することを、県とも連携して、市から商工会議所へ提案した。商工会議所ビルの移転を伴う市営基町駐車場周辺の再開発は、紙屋町・八丁堀地区の活性化を加速させるリーディングプロジェクトになるものと考えており、是非とも実現していきたい。



商工会議所ビル

学校給食について

問 学校給食を取り巻く環境を踏まえると、これまでの自校調理方式を中心とした提供体制から、民設民営の給食センターを中心とした提供体制に転換していくことを検討すべきと思うが、どうか。

答 学校等の調理施設が老朽化するのに対応するのではなく、デリバリー給食の課題解決と合わせて、給食の提供体制全体を考え対応を検討する。民設民営の給食センターを中心とした提供体制への転換は、有力な選択肢になると考え、五日市地区学校給食センターの運営状況の分析・評価を加味し、検討していく。



宮崎誠 克 自民党・市民クラブ

ワクチン再接種費用全額助成を

問 造血細胞の移植を受けた小児は、それまで獲得した抗体の全てを失ってしまふ。移植治療後に感染症に罹患する可能性が高く、ワクチンの再接種は必要不可欠だ。本市において「子育て支援策」として、国に先駆けて再接種費用全額補助制度を創設する必要があるのではないか。

答 本年7月に大都市衛生生主管理局長会からの国要望及び、市の主要事業に関する国への要望において、ワクチンの再接種を予防接種法上の定期予防接種に位置付けるよう要望した。今後も国の動向を注視していくとともに、引き続き国に対し機会を捉え、働きかけを行っていく。

安定した行財政運営のために

問 将来の財源不足に備え、競争事業会計から繰り入れる財源を、財政調整基金への積み立てに充てるといった、新たなルール作りも含めた資金計画が必要ではないか。

答 財政調整基金への積立てについては、決算剰余金の2分の1以上を積み立てるというルールが法定されているところであり、競争事業会計からの繰入金も含む剰余金が一層増加するよう、経営改革にこれまで以上にしっかりと取り組むことにより、高の確保に努めたいと考える。



森島 秀治 自民党・保守クラブ

重い通学かばん

問 中学生の通学かばんの重さは、教科書、参考書のほかに部活動の用具などを加えると10数キロになり、高台にある学校への坂道を登っていくには相当の負担がかかる。改善方法としての「置き勉」について本市ではどのような状態なのか。今後の対応はどうか。

答 多くの学校では、辞書や資料集等の毎日持ち帰る必要のない物については、学校に置いて帰ってよいとし、国語や算数等の教科書や補助教材等については、家庭での予習・復習の習慣を身に付けさせるため、持ち帰らせる指導を行っている。今後、通学時の負担軽減を図る取り組みが促進されるよう、指導の徹底を図っていきたい。



米津 欣子 公明党

ワクチン再接種の公費助成

問 小児がんの治療として臍帯血や骨髄等を移植する造血細胞移植をして、抗体が無くなった子どもへのワクチン再接種の費用助成をするべきか。

答 ワクチンの再接種については、予防接種法上の定期予防接種に位置付けるべきと考え、本年度国へ要望した。定期予防接種に位置付けられることで、経済的負担が軽減されるとともに、接種による健康被害が発生した際に予防接種法に基づく救済が図られる。引き続き国に対して働きかけを行っていききたい。



競輪事業を続ける意義は

問 長い間の赤字や厳しい収益事業の中、競輪事業の存廃を考えると、あえて包括委託事業を継続する理由は何か。

答 市競輪運営委員会からの答申で、「民間事業者への包括委託により大幅な収支改善が図られた」こと、「包括委託を継続するならば、少なくとも10年程度は一般会計繰り出しを行いつつ、安定した収支を見込める」との評価を受け、市財政に貢献する可能性が見えてきた。このことから、競輪事業を存続し、市財政に一層貢献するよう変革しようと考えた。



保育園耐震改修工事の遅れ

問 保育園の耐震改修工事において、入札不調が続いているため、子どもたちの安全が確保されていない。このことに関して本市はどのように認識し、今後の対応はどのように考えているのか。

答 入札不調が増加した要因としては、工事規模が小さく、朝夕の送迎時や午睡時に園児に配慮しながら施工する必要があるため利益が少ないことに加え、7月豪雨災害により技術者などが不足していることが影響していると考えられる。より多くの建設業者が入札に参加できるように、今後とも関係課と調整し、可能な限りの対応をしていく。



伊藤 昭善 市政改革ネットワーク

浸水対策で新たな補助制度を

問 頻発する豪雨による浸水被害を防ぐための止水板等設置工事費補助制度や災害時にも役立つ雨水貯留タンクの設置補助制度の創設を検討してはどうか。

答 浸水対策の整備が完了していない地域の住民等にとっては、議員のご提案は住民自らの安全確保に資するともに、市街地の浸水対策を着実に進める上での一助になるものと考えられる。市としては、導入する場合の対象区域や補助額について検討を進めていくところであり、できるだけ早期に結論が出せるよう、検討を急ぎたいと考えている。



観光施設のネットワーク化を!

問 本市を代表する文化・観光施設である現代美術館、比治山公園、広島城について、観光客の目線に立って一層の魅力向上を図るとともに、観光客の回遊性を高め、滞在時間の拡大などにつながるよう、3施設が連携した共通入館券を導入してはどうか。

答 各拠点を再整備により魅力を高めるとともに、観光客を拠点から拠点へと誘導するための仕組み作りも重要である。議員ご提案の共通入館券は、この点で大きな効果が期待できると考えており、早急に検討し、来年度から実施したいと考えている。



山路 英男 自民党・市民クラブ

用語解説

本文中に赤表記した用語を解説しています

●インバウンド

インバウンドツーリズムの略で、外国人の訪日旅行を指す。

●常時観測火山

日本にある111の活火山のうち、火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山として選定された50の火山。気象庁において火山活動を24時間体制で常時観測している。

●ライフサイクルコスト

建設物の建設費用だけでなく、企画・設計・施工・運用・維持管理・廃棄に至るまでに発生する全費用。

●リーディングプロジェクト

事業全体を進める上で核となり、先導的な役割を果たすプロジェクト。

●小児がん

小児がかかる様々ながんの総称。白血病、脳腫瘍、神経芽腫(しんけいがしゅ)、リンパ腫、腎腫瘍(じんしゅよう)等。日本では年間2000~2500人が小児がんと診断されており、子ども10000人に約1人の割合。